

* 感染症情報 *

< 手足口病 >

- 1) 病原体・・・ウイルスによるもの（原因ウイルスが複数あるため、何度でも感染する可能性がある。）
- 2) 潜伏期間・・・3～6日
- 3) 症状・特徴・名前の通り口腔粘膜と手足に水泡性の発疹が出来る。
また、発熱とのどの痛みを伴う水泡が口腔内にでき、唾液が増え、手足の末端、お尻などに水泡（水ぶくれ）ができる。
ウイルスによっては水ぼうそうと間違えられる程の発疹がでたり、爪が剥がれたりする場合もある。
- 4) 感染経路・・・飛沫感染、接触感染および経口感染
症状が出だした週が感染力が最も強い。回復後も唾液や鼻水からは1～2週間、便からは数週から数か月ウイルスが出る。
- 5) 予防・・・ワクチンはなく、感染予防には、手洗いの励行など一般的な治療方法 予防法を行うことが大切です。
発症した場合は、有効な治療法はなく、多くの場合3～7日で自然治癒することが多い。
- 6) 登園の目安・発熱や口の中の水泡や潰瘍の影響なく、普段の食事が摂れる。
機嫌も良く全身状態が安定してから登園するように
お願いします。
登園時は、保護者記入の登園許可証を提出してください。